

進路だより

札幌市立新川西中学校
第3学年進路だより
2025. 5. 14
NO. 9

☆進路希望調査の質問から③

[入試のパターンについて]

※公立高等学校の入試は「受検」、私立高等学校の入試は「受験」と表記される場合がほとんどです。

高等学校の入試で一番多いパターンは公立高等学校と私立高等学校（A・B日程のどちらか、又は両方）を受験（受検）するパターンです。（併願という言い方をします。）

私立高等学校の受験は2月中旬です、公立高等学校が第1志望でも、いろいろな意味合いで私立高等学校の受験も考えてほしいと思います。

私立高等学校のみを1校だけ受験することを私立単願（単願）という言い方をしています。（私立高等学校によって、呼び方が変わることもあります。）そこだけを受験するという約束で受験することになるので、受験時期が早く（1月下旬）また、選抜の基準も一般入試の基準と違っていることが多いです。

公立高等学校、私立高等学校以外には、受験日の違う通信制の私立高等学校や高等専門学校を受験することもできます。

有朋高等学校の通信制課程、単位制課程に関しては出願時期がほかの公立高等学校とは異なるので、公立高等学校の合格発表後に改めて出願することが可能です。しかし、出願には日程等を含め制約があります。

[費用について]

※例年の費用です。

入学金…公立：5,650円

私立：15万円～30万円（入学金以外の納付金を含む）

授業料…公立：月額9,900円

私立：月額3万円前後

※支援金に関する詳細は後日発表されます。

※支援金の扱いによって、私立高等学校の校納金の内訳が変更となる場合もあります。特に私立高等学校の費用に関しては各校の要項（入試の詳細を記したもの）での確認が必要です。

※どの高等学校でも費用として交通費や昼食代をはじめ制服代や教科書代、部活動の費用、また最近ではパソコンの購入費など中学校とは違って様々な費用がかかります。



[特待制度について]

ほとんどの私立高等学校ではそれぞれの学校独自に特待制度を設けています。

基準は様々で、学習点（ランク）・入試の得点・入試の順位等によって資格を得ることができます。また、受験するコースによって特待の基準が変わることもあるので注意が必要です。

スポーツやその他の技能に関しても特待の基準もありますが、この場合は事前に必ず高等学校の担当の先生から中学校に連絡があり、高等学校と中学校の双方の確認があってから具体的な動きとなります。それ以外にも、兄弟が在籍している、保護者が卒業生等の認定基準を設けている高等学校もあります。

[奨学金制度について]

この制度は進学の意味があり、心身・学業ともに優れていながら、経済的に苦しく学費を出すことが困難な生徒のために奨学金を貸し付け、または給付する制度です。

奨学金の受給には、それぞれの制度毎に家庭の家計に関する状況や成績に関しての基準が設けられています。様々な団体毎に奨学生制度があります。中学校に連絡が来るものに関しては随時紹介していきます。希望する場合は速やかに担任の先生に申し出てください。

[私立高等学校のコース制度について]

各私立高等学校では高等学校卒業後の進路の希望に合わせて、コースを設定しています。入試に関してもそのコース毎に合格基準が設定されています。願書を提出する際に第1・第2希望でコースを記入する学校もありますが、ほとんどの高等学校では上位のコースで志望して基準を満たさなくても、下位のコースの基準を満たしていれば下位のコースで合格という方式をとっています。

逆のパターンを行う高等学校もあるようですが、多くは学年が進級するときにコースを変更することを可能にするという方法で行われているようです。

これに関しても高等学校毎に様々な制度がありますので注意してください。

[入試に向けての学習について]

受験勉強に向けて今後、学活等で計画などを含め取り組み方について考えていきます。また、今後の進路だよりで5教科の学習についても紹介します。今一度参考にしてください。

効率よく学習するには息抜きが必要だと思いますが、勉強に疲れたら違う教科の学習をするというのが良い息抜きになるという説があります。

[学力テストに向けての学習計画]

第一回定期テストは6月18日(水)に実施されます。テスト範囲は5月26日に発表する予定です。2学期には学力テストABCが行われますが、その学力テストに向けて計画的に学習を進めていきましょう。夏休みまでに1・2年の復習を一度終えているのがベストですが、夏休みに入ってもともかく一通りの復習は済ませましょう。2学期からは2巡目の復習に取り組み、学力テストの範囲に合わせて計画的に学習を進めましょう。

学習道具は1・2年の教科書、市販の復習の問題集等で、中途半端にならないことが大事です。また、学習方法としては、5教科を毎日勉強するよりも、毎日2教科ずつ順番を工夫しながら(得意分野の確認や不得意分野への対策を考えながら)取り組んでいくなど、いろいろな方法があります。自分にあった学習方法で取り組んでほしいと思います。

[入試に関する今後の事]

来年度の入試に関しての詳細(公立・私立ともに)はこれから発表されます。このことに関しては随時進路だより等で紹介していきます。不安なことが多いと思いますが、何でも必ず先生方に相談してください。

さて、進路の決定に向けて一番大事なことは自分自身で決めるということです。そのためにはみなさんが自分で調べて、自分でしっかり考える。そして、家庭ではおうちの人の考えを良く聞いて何度も話合うことが大切です。学校では先生方とじっくり相談してください。

そして、皆さんは受験に向けて自分のベストを尽くしてください。

そのためにも、残りの中学校生活を満足のいくものにしていきましょう。



大切にしましょう、**あいさつ、みだしなみ、時間のけじめ。**